

車座トーク

「嘉川の将来像」を考える

協議会長 松崎 恒雄

1月14日に渡辺市長をはじめ市の幹部をお迎えし、車座トークを開催しました。ここでは嘉川の課題について現状をもとに解決策を提案し、回答を求めました。



(Ⅰ)嘉川地区の将来像

- ①赤坂から深溝へ連なる国道沿い、小郡バイパスから嘉川に入る三つのインターチェンジ大原、岡屋、原条の周辺に、企業団地を造って企業を誘致し雇用を増やしたい。
- ②山陽本線北側の赤坂から高根方面の水田や空き地を住宅地に転用して、人口増をはかりたい。

市の回答

- ①企業団地を造るにはいろいろな条件が発生するので検討が必要である。企業を誘致する努力はしたい。
- ②嘉川地区は住宅地に適している。農地転用は以前よりは容易である。

(Ⅱ)一般廃棄物最終処分場

○来年度後半から稼働する最終処分場のデータの公開、周辺の環境整備、環境学習の実施等を話し合う協議会をできるだけ早く設置できないか。

市の回答

○協議会の必要性は認めており、

7月をめどに進めていきたい。

(Ⅲ)高齢者の支援

①緊急通報といった支援制度があるが、他の市と比較して山口市は条件が厳しい。もう少し利用しやすくできないか。

②コミュニティタクシー(コミタク)、グループタクシーの利用について
a)コミタクがきらら道路を利用して小郡、阿知須方面に行けないか。
b)コミタクの回数券をグループタクシーにも利用できないか。

c)グループタクシーの利用ができる駅、バス停までの距離の緩和を求めたい。

市の回答

- ①緊急通報制度については、利用しやすいようによく検討したい。
- ②a)コミタクがきらら道路を通ることは許可が出ないと思われる。
- b)制度が違うので併用できない。
- c)現状より緩和できるように考える

一般参加者から次の発言がありました。

(1)最終処分場の水質検査や処分場の将来計画についての約束は守って欲しい。

(2)出産直後に於ける父親の育児休暇の制度が欲しい。

(3)市役所の新庁舎はぜひ新山口の近くに建設して欲しい。

今年も防災訓練にチャレンジ!!

自治部会長 竹本 憲治郎

今年、嘉川地域の防災活動を専門的な立場から指導・支援し、防災事業の企画、立案や実施にも協力する組織として、約30名からなる「防災活動指導・支援会」を立ち上げました。この会の熱心な指導・支援を受けて実施した本年度の主な防災活動は次のとおりです。

1 「防災活動指導・支援会」のメンバーを対象にした研修セミナーを開催。

① 平成27年10月、山口大学大学院 滝本浩一准教授を講師に、地域防災をすすめるうえで必要な地域リーダーの果たす役割について、最新の防災知識を習得する講座を開催しました。

② 平成27年11月、NPO法人 山崎隆弘事務局長を講師に、防災避難マップづくりの実施体験をしました。

今回は、福岡自治会地区をモデルに3班、3コースに分かれて地区内を踏査し、災害時の危険個所を見つけて地図に落とし、避難マップを作成しました。ふだんは気づかない多くの危険個所が見つかり、避難情報の共有化ができました。

2 中学生対象の防災学習会の開催

平成27年12月17日、川西中学校1、2年生175名を対象に、最近の災害状況を学習した後、

災害図上訓練(DIG)を行いました。

子ども達は、ハザードマップを見ながら、災害時、自分の住む場所からどこに逃げるか?など地域の指導者とワイワイ話し合いながら避難マップを作成しました。

3 防災避難訓練の開催

本年度は、確実に襲つてくると予測されている南海トラフによる地震と津波を想定した訓練を行いました。

まず、平成28年1月28日、嘉川地域全世帯に「防災訓練参加のお願い」のビラを配布しましたが、各家庭で見えていただけましたでしょうか。また、小、中学校にも児童・生徒の参加をお願いをしました。

訓練当日、平成28年2月11日(祝)9時、行政無線、消防車両等の訓練開始の放送を合図に



中学生対象の防災学習会

嘉川地域のみんなが参加して「まず低く・頭を守り・動かない」の「いっせい防災行動訓練」を行いました。9時30分嘉川地域交流センターに災害対策本部を設置、住民からの想定被害の通報及びそれを受け被害対策を行うなどの訓練を実施しました。その後10時30分本部を解散し、訓練を終了しました。

今回の訓練では、「放送が聞こえない。電話が通じない。」等々多くの意見もあり、情報伝達手段、通報対応の検討等多くの改善点にも気付かされました。こうした訓練を重ねて、住民の防災意識が少しでも向上し、各自治会において自主防災組織の設置等が進み、地域防災力が充実、強化していくことを期待しています。



災害本部の訓練状況

今、東・西本郷が おもしろい

東本郷自治会長 勝屋 健治

東本郷自治会では平成26年から、嘉川自治連合会の支援を受け、地権者の協力を得ながら、大歳宮に隣接する荒廃田を切り開き、憩いの広場として利用する取り組みを始めました。昨年は、景観植物を植栽しました。また、花見会用としてテーブルや椅子を整えるとともに、これらを収納する倉庫を東本郷のファーンを自称する集落外の協力者の設計・施工で設置しました。

今後も平成の時代にふさわしい里山の活用をはかりつつ、ふるさと再生を実現したいと思っています。特に、団塊の世代が元気なうちに。

そして、嘉川の中山間地域（中田畑、東・西本郷）が嘉川遺産として次代に引き継がれることを期待しています。

東・西本郷の特徴と見所

①中山間地域特有の棚田があり、日本の原風景を感じさせる里山の雰囲気味わうことができます。

②大歳宮を中心に集落の各所で花や紅葉が楽しめます。雑木林を背景に、春期にはウメ、サクラ、菜の花が咲き、秋季には、モミジ、



コスモスなどの彩りのある里山となります
③嘉川の最高峰「禪定寺山」の登山口として整備が進められました。健脚の方は、さらに、柴山公園（小郡）へのルートや塩見峠を経て、平原岳（宇部市）への縦走を楽しむことができます。

④6月には、河内川、本郷川では、ホテルが楽しめます。

⑤健康増進のためのウォーキングやジョギングコースとしての利用ができます。宮の原から東本郷・西本郷（出葉）を経由する一周5〜6kmのコースはのんびりした田舎の風景を楽しみながら汗を流せます。

⑥時には、野生の動物を身近で観察することができます。

嘉川元気会 地区探訪ウォーキングのご案内

- ①日 時…平成28年4月4日（月）
9：30～14：00
- ②集合場所…嘉川八幡宮境内
- ③探訪地…宮の原、西本郷、東本郷
- ④見所…新緑の風景
清流のせせらぎ
里山散策
桜の花見
楽しいリクリエーション
わらび採り
クレソン採り

初夏の風物詩、蛍の観賞スポット

西本郷地区

嘉川の東部を南北に流れる河内川の中程、西本郷地区の玄関口である丸山橋の川辺一帯では、蛍が幻想的な光を発しながら乱舞する光景を楽しむことができます。

一度お越しになると、きっと「もう一度、観たい」となることでしょう。

※蛍の観賞は、5月下旬から6月初め夜8時から9時頃、蒸し暑くて、風のない曇った日が良い。

※観賞時のマナー

- 光は厳禁
- ・懐中電灯など照らさない
- 生息エリアを汚さない
- ・川や田圃にゴミなど捨てない
- 蛍は捕まえて持ち帰らない
- 地元住民に迷惑をかけない
- ・大声など出さない

※駐車場がありませんので車の乗り入れはご遠慮ください。

嘉川昭和会40周年記念事業 禅定寺山登山・ 里山散策実施

嘉川昭和会 会長 三輪 賢司



今年度40周年を迎える嘉川昭和会では、地域の皆様と行う、「山登り、里山散策」を企画いたしました。あいにくの曇天で山頂からの風景は望めませんでしたが、参加された130余名の方々と自然を楽しみました。標高392メートルの禅定寺山は、地域最高峰の山です。永い間東本郷自治会、嘉川自治連合会のメンバーが整備され続けてこられました。急な斜面を通らずに上れる登山ルートを開拓したり、山中に休憩所を設置するなど、様々な工夫が

なされていきます。また、登山口のある東本郷地域には様々な植物が植えられており、4月にはたくさん



の桜が満開を迎えます。

そして下

山後は、嘉

川美食倶楽部が作ってくれた「嘉川海苔なべ」や山賊おむすびに舌鼓を打ち、食後には参加された方々とくじ引き等をして交流し有意義なひとときを過ごしました。今後も嘉川昭和会では、嘉川地域が、少しでも楽しい場所であるように、活動して参ります。

芝生の実り、嘉川の宝

嘉川小学校 校長 山田 邦夫

献身的に芝生の管理をしてくださる芝生の会の皆様、その手伝いをされるPTAの方、放課後や休日には芝生の上で遊ぶ子どもたちやくつろぐ地域の方々、授業や休憩時間に元気に活動する子どもたち、全てが芝生の運動場の実りだと感じます。

美しい緑黄色は安らぎを、柔らかな肌触りはやさしさと落ち着きをもたらします。転んでも痛くない地面は、活動の幅を広げ、寝転んで開放感を味わうこともできます。所期の目的である体位の向上はもちろん、教育活動の多様化や地域の活性化に向けた取組の可能性もあります。

多くの話し合いやご苦労があります。皆様のご協力ご努力に、心より感謝申し上げます。

募集しています ボランティア

嘉川小学校芝生の会

平成26年6月、四千㎡の校庭へ芝生の苗一万六千ポットを児童・保護者・地域の人の参加で植え付けました。今年で3年目を迎えますが、冬場以外は週に一回約2時間かけて限られた人員で、芝刈り、肥料散布を行っています。手伝ってくれる人を募集しています。これからも、ずっとエバーグリーン



テーマ

ふるさと嘉川への私の想い

今を生きる

伊藤 達子(高見)

高見に住んで51年になります。子ども達もそれぞれ成人し、主人と二人の時も終り、今一人になった私の人生、再スタートの気持ちでいます。

はじめは、おばあちゃんに教えてもらいながらの農業でしたが、農薬散布することが気になり、「これでいいの?」という思いが広がり、昭和61年から、無農薬栽培を始めました。いろいろな困難なことが沢山ありましたが、安心安全を第一に考え、ただもくもくとやってきました。

無農薬栽培をして、まずおばあちゃんがかぜを引かなくなったこと、子ども達が健康であつたことなど、よかつたなあと思います。また「自分の食べる野菜は、自分の手で作る」



との思いは、JA女性部で「食を考える会」をたちあげることとなり、野菜の苗を安く配布することにつながりました。72才になりましたが、野菜づくりが楽しいのです。近所の方々におすそわけしたり、いきいきサロンに持っていったり、コープに出荷したり、私の野菜がよろこばれていることがうれしいのです。

さらにもう一つのよろこびは、興進小の5年生には米づくりを、1、2年生には、玉ねぎ栽培を通して、いのちをいただいていることを伝え、いのちの不思議を伝えていることです。

私のできることは何でもしていきたい、人の役にたちたい、こんな思いが今の私を生き生きとさせているのです。

「しゅっぱっぱ」とともに

伊川 雅子(中市)

嘉川子ども館「しゅっぱっぱ」に出会ったのは約6年前、現在小学生の我が子が赤ちゃんの頃のことでした。

初めての育児は、戸惑うことや「これで良いのだろうか?」という不安の連続でしたが、同世代の子を持つ仲間や、先輩であるスタッフさんたちと交流できる「しゅっぱっぱ」は、私の心よりどころとなっていました。

幼い子ども達が、天候を問わず安全に遊べ



る場所は、実は少ないのが現状ではないかと思えます。ネットなどで情報はあふれるほど得られる時代ではありますが、同じ悩みを抱える者同士で心おきなく話せることや、先輩たちの生の声にはかきません。

親子一緒に、訪れるのが楽しみな場所があることで、心身ともにリフレッシュできました。後に、このような施設を作るために、多くの方が汗を流してくださいましたことを知り、本当に頭が下がる思いでいっぱいになりました。地域の方々が、私たちの世代を支え、応援して下さる温かい心が形になった「しゅっぱっぱ」、親子ともに欠かせない存在です。同じように感じている人たちは、たくさんいると思います。子どもの成長とともに、「卒業」する時は来ますが、楽しい思い出や、知り合えた人たちは、大きな財産です。

この感謝の気持ちを忘れずに、少しずつですが、手を差し伸べる側になることで、お世話になった恩返しをしていきたいと願っています。

サークル紹介

子育てサークル「嘉川幼児学級」
会員は嘉川地区住民

代表 田邊 敏子

嘉川幼児学級は、昭和56年に、嘉川婦人会の下部組織として発足しました。現在は嘉川婦人会から独立して活動しています。

生涯教育と地域福祉の両面を合わせ持ち、育児に携わる保護者及びそれに代わる者の親睦と学習の場であると共に、乳幼児の社会性を養うための手助けをすることを目的として、嘉川地域交流センターの多目的室を主会場に年10回定例会を開催しています。嘉川子ども館「しゅっぽつぽ」と違い、会員は、嘉川地区在住の方が対象で、会場の広さやリーダーさんがお世話できる範囲を考慮して、20家族を定員としています。毎年開催している「ミニ運動会」や「クリスマス会」は大好評です。多くの方のご支援、ご協力に感謝し、楽しい仲間づくりを続けています。



興進教育会が文部科学大臣表彰受賞

平成27年度優れた「地域による学校支援活動」の推進

興進教育会会長 久保 實



表彰状
興進教育会 贈
本団体は日頃より地域の方々による学校支援活動において優れた成果を挙げ、地域と連携協働の推進に多大な貢献をなされ、ここに表彰いたします。
平成二十七年三月
久保 実

て、「地域が子どもを育てる」を合言葉に地域づくりをめざす私たちに、このたび大きな励ましをいただいたとよろこんでいます。先達の思いに支えられて今進んでいる「いのちの大切さに気づく学習支援、地域のぬくもりを登下校に届ける安全支援、自然や周囲への感謝を育む環境支援、そして、全員の心をつなぎ合う学習講座」等、他者を思いやることのできるおとなに成長してくれるための支援と、そのためのあたたかい風土づくりにこれからも努めていきます。



「やまぐち元気いきいき大賞」
受賞おめでとうございます

金子 稔 さん

金子さんは、北の江東在住で、大正11年生まれの94歳。山口市主催の平成27年度「やまぐち元気いきいき大賞、健康長寿部門」で表彰されました。

金子さんのすごいところは、①3月末に開催される「嘉川八十八ヶ所霊場めぐり」に毎年参加し先導役を務めている。②「嘉川グラウンドゴルフ愛好会」のリーダー役で、自宅から会場の南部広場まで、片道約4kmを自転車で往復している。③毎日ウォーキングをしている。

また、長寿の秘訣を聞いてみますと、①とにかく体をうごかすこと②睡眠を十分とって早寝早起きの規則正しい生活をする③麦ごはん、野菜、魚、海産物など食べ物にも気をつけていること、④みんなで集まって楽しく話をする⑤何事も始めたならそれを続けること等を心がけているそうです。

これからも元気で長生きをしてください。

編集後記

東日本大震災から5年、嘉川連合自治会でも災害に備え、26年度から本格的に防災組織を立ち上げ訓練に取り組んでいます。住民一人ひとりに防災意識が浸透することを願って…。